

公共事業等施行状況調（令和4年8月末）

県 分

（単位：百万円、％）

工種区分	年 度	予 算 措 置 額				本工事費契約額及び契約率 (8月末)				備 考
		事 業 費		本 工 事 費		4年度 C	C/A	3年度 D	D/B	
		4年度	3年度	4年度 A	3年度 B					
1	治山・治水	23,764	24,949	16,811	15,541	6,655	39.6	8,670	55.8	
2	農林・水産	32,757	30,983	24,654	22,974	12,624	51.2	9,211	40.1	
3	道 路	53,793	51,830	33,860	30,712	20,511	60.6	23,091	75.2	
4	港湾・空港	7,082	6,973	2,983	3,319	2,242	75.2	2,127	64.1	
5	下水道・公園	9,868	9,525	2,732	2,468	587	21.5	738	29.9	
6	住 宅	1,489	1,805	1,045	1,309	759	72.6	1,024	78.2	
7	庁 舎	2,467	3,623	2,315	3,356	1,507	65.1	1,518	45.2	
8	土地造成	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
9	鉄道・軌道	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
10	学校・病院	5,802	20,029	4,519	16,331	1,573	34.8	4,019	24.6	
11	工業用水・上水道等	950	1,034	84	102	70	83.3	23	22.5	
12	災害復旧	602	211	457	203	105	23.0	108	53.2	
13	その他	7,521	8,966	4,255	6,507	2,078	48.8	3,630	55.8	
	計	146,093	159,928	93,714	102,823	48,711	52.0	54,160	52.7	

※項目ごとに端数処理をしているため計と一致しない場合がある。

公共事業等県内県外別発注実績（令和4年8月末）

（単位：社、件、百万円、％）

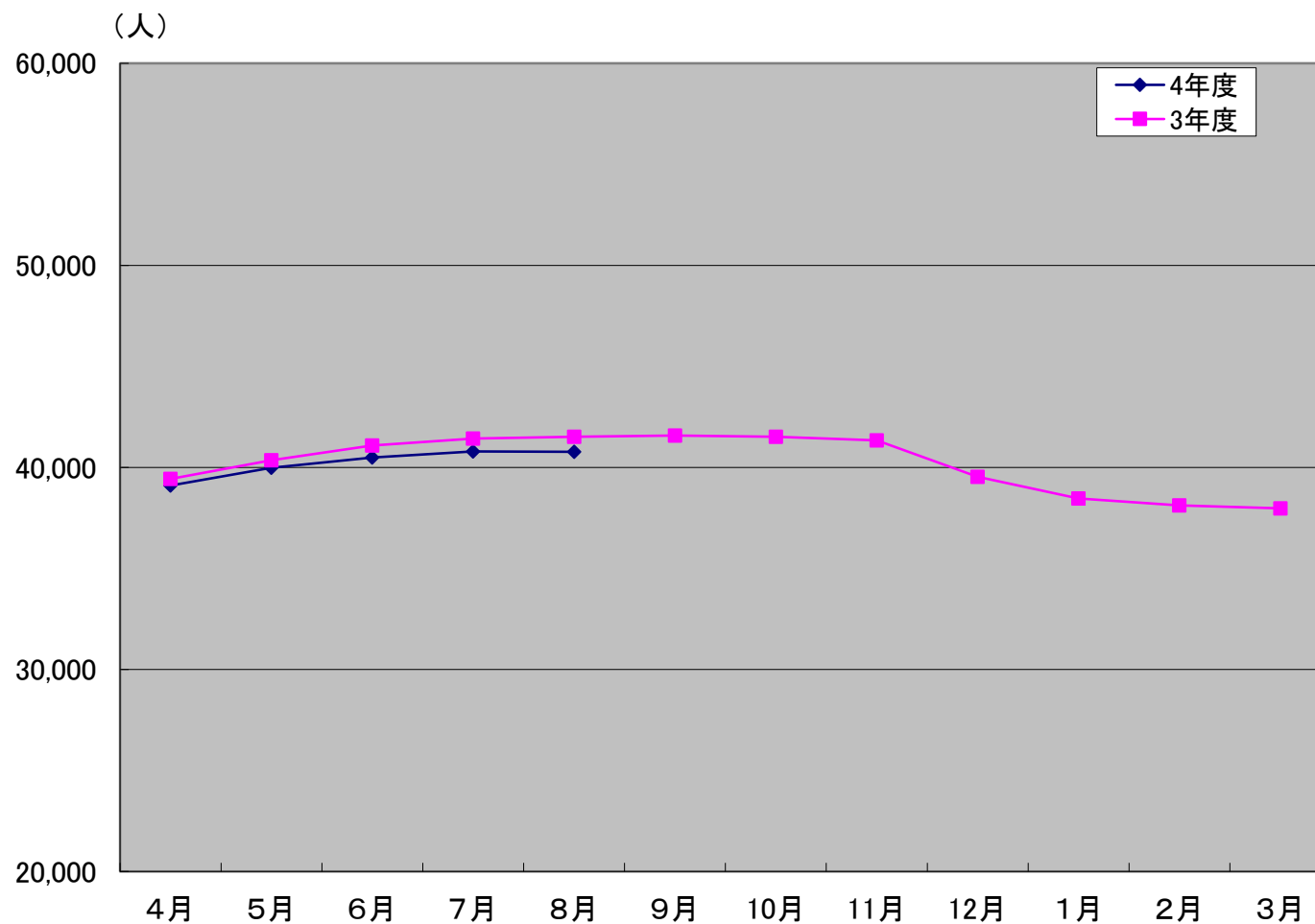
事項 区分	予算措置額 (A)		発注実績 合計 (B)											
	事業費	本工事費	県内 (C)			県外 (D)			共同企業体 (E)					
指名業者等			契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	
4年度	146,093	93,714	13,194	1,251	48,711	12,939	1,193	43,276	213	44	2,310	42	14	3,125
					B/A 発注率	C/B			D/B			E/B		
					52.0	98.1	95.4	88.8	1.6	3.5	4.7	0.3	1.1	6.4
前年度比	91.3	91.1	87.6	83.0	89.9	87.7	82.9	92.9	85.5	88.0	78.0	61.8	77.8	67.6
3年度	159,928	102,823	15,066	1,507	54,160	14,749	1,439	46,577	249	50	2,960	68	18	4,623
					B/A	C/B			D/B			E/B		
					52.7	97.9	95.5	86.0	1.7	3.3	5.5	0.5	1.2	8.5

被保険者数

	4年度	3年度
4月	39,104	39,424
5月	39,983	40,359
6月	40,493	41,085
7月	40,790	41,421
8月	40,778	41,521
9月		41,577
10月		41,516
11月		41,333
12月		39,528
1月		38,465
2月		38,115
3月		37,973

前月末被保険者数	40,790
資格取得者数	462
資格喪失者数	462
転入者数	1
転出者数	13
今月末被保険者数	40,778

雇用動向(建設業における雇用保険の加入動向)8月末



建設資材の需給・価格動向調査 (4年9月)

	需給動向									価格動向									備 考							
	青森			弘前			八戸			県平均			青森			弘前				八戸			県平均			
	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定	下 落		上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定	下 落	
セメント		○			○			○			○			○			○			○			○			県内の7月の販売量は3万4千トン(セメント協会調べ)で前年同月比22.3%の減。セメントメーカーの値上げを受け、流通各社は7月より、袋セメントの値上げを打ち出した。需要家から抵抗を受けたものの、粘り強く交渉を続け、値上げが浸透した。先行き、横ばいの公算が大きい。
コンクリート製品		○			○			○			○			○			○			○			○			道路工事向け、農業土木向けとも昨年度比で県内出荷はやや増加している。10月からのセメントの追加値上げ表明を受け、製造コスト増による採算悪化に危機感を募らせている。メーカー各社は値上げの上積み求め交渉を継続している。需要家は製造コストが増加している状況に理解を示しつつも、さらなる値上げの受け入れには慎重な構え。先行き、横ばいの公算大。
生コンクリート		○			○			○			○			○			○			○			○			県内の8月の出荷量は3万8千m3(生コン工組調べ)で前年同月比29.8%の減。県内全域で荷動きが精彩を欠くなか、10月からのセメントの追加値上げ表明を受け、製造コスト増による採算悪化に危機感を募らせている。追加値上げを打ち出したメーカーもあるものの、需要家は短期間でさらなる値上げに対して、慎重な姿勢を崩していない。目先、横ばいの公算大。
砕石		○			○			○			○			○			○			○			○			生コン用、道路用とも出荷は低調に推移している。一部メーカーは、原油高による輸送コストの増加や電気料金の上昇を理由に追加値上げを表明している。需要家は短期間でさらなる値上げに対して、慎重な姿勢であるものの、社会情勢の変化に理解を示し受け入れる動きも見られる。両者の歩み寄りがさらに進むとみられ、先行き、強含みの見通し。
小 棒		○			○			○			○			○			○			○			○			SD295・D16でトン当たり115,000円と前月比2,000円の下落。5月の連休明けから下落していた鉄スラップ価格は、益明けから値を戻している。メーカー各社は未だ採算が改善されていないとし、現行価格維持の姿勢を崩していない。一方、需要家は、製品価格が原料価格に比べて割高とみており、当用買いに徹しながら、値下げを要求。流通筋が要求の一部を受け入れたことで、続落した。需要家は今後も値下げ交渉を続ける構えで、目先、弱基調の公算が大きい。
アスファルト		○			○			○			○			○			○			○			○			8月の県内出荷量は5万トン(含材協会調べ)で前年同期比5.7%の減。維持修繕など小規模工事向けが中心で商状は盛り上がり欠いている。原材料のストアス価格は依然として高値圏で推移しており、メーカー各社は価格転嫁が製造コスト増に追いついていないとして、値上げ交渉を続けている。需要家は度重なる値上げに難色を示しており、目先、横ばいの公算が大きい。
木 材		○			○			○			○			○			○			○			○			管柱 杉(KD)3.0m×10.5×10.5cmでm3当たり115,000円と前月比5,000円の下落。7月の県内新設住宅着工戸数は485戸で前年同月比10.4%の減少(国土交通省調べ)。ウエイトの高い持家が前年同月比19.4%の減少、それに次ぐ貸家が同57.5%の増加などとなっている。多品目に渡る建設資材の高騰や住設機器の納期遅延が重なり、広域的に住宅の購入意欲が低下。需要減少が顕在化するなかで、昨年来不足がちだった輸入材の供給も回復してきたため、荷余り感が台頭し国産材が値下がりがした。先行き、弱基調の見通し。
油 類		○			○			○			○			○			○			○			○			軽油はミニローリー渡りでリットル当たり121円、重油はローリー渡りでリットル当たり82円とともに前月比3円上伸した。原油相場は主要産油国の減産方針や、ロシア産のエネルギー供給不安を背景に上昇し、一時は1カ月ぶりの高値を付けた。これを受け、元売りの仕切価格は上伸し、流通各社も追従した。一方、世界経済の減速により需要が減少するとの見方が強く、原油相場は方向感を欠き不安定な状況が続くものとみられる。目先、横ばいの見込み。
型枠合板		○			○			○			○			○			○			○			○			12×900×1,800mm輸入品で枚当たり2,250円と前月比変わらず。前月まで19カ月続いていた値上がり感がストップした。現地の高値が続いているため、流通筋では値上げの取り組みを継続しているが、長期間の品薄や価格上昇が続いてきたことで、主要な需要家はリスクに備え当座の必要分を確保済みで、市中では荷余り感が始まっている。今後、現地が雨季に入るため入荷量は減少してくる見通しだが、需要家は不足分の当用買いに徹する姿勢。先行き、横ばい推移の見込み。
形 鋼		○			○			○			○			○			○			○			○			200×100でトン当たり129,000円と前月比1,000円の上伸。メーカー各社は販売価格の据え置きを表明し、価格優先の販売姿勢を維持している。流通各社は、メーカー値上げ未転嫁分の値上げ交渉を継続。中小物件が振るわず、商況は精彩を欠いているが、採算悪化を回避したい流通各社の売り腰は強く、値上げ額の一部が浸透した。今後も流通各社は高値を継続する構えだが、需要家はこれ以上の値上げには難色を示し始めている。目先、横ばいの公算が大きい。

(価格動向欄の上昇・下落は、3%以上の変動とする。)

建設資材の需給・価格動向調査 (4年9月)

区 分	品 名 ・ 規 格	単 位	青 森		弘 前		八 戸		県 平 均		備 考
			価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	
セメント	バラセメント(普通ポルトランド)	t	14,400	0.0	14,400	0.0	14,400	0.0	14,400	0.0	
セメント	袋物セメント(普通ポルトランド)25kg入	袋	560	16.7	560	16.7	560	16.7	560	16.7	22,400円/t
コンクリート製品	U形側溝300B L=1m	本	3,060	0.0	3,060	0.0	3,060	0.0	3,060	0.0	
コンクリート製品	ベンチフリューム400型 L=2m	本	6,160	0.0	6,160	0.0	6,160	0.0	6,160	0.0	
コンクリート製品	ヒューム管B型 φ600 2.43m	本	37,900	0.0	37,900	0.0	37,900	0.0	37,900	0.0	外圧管1種
生コンクリート	18-8-40	m3	13,000	0.0	13,600	0.0	16,000	0.0	14,200	0.0	
砕石等	洗砂	m3	3,300	0.0	3,200	0.0	4,500	0.0	3,667	0.0	
砕石等	コンクリート用砕石 25~5mm	m3	4,000	0.0	3,900	0.0	4,700	0.0	4,200	0.0	
砕石等	切込砕石 40~0mm	m3	3,100	0.0	3,000	0.0	3,300	0.0	3,133	0.0	
小形棒鋼	普通丸鋼SR235 φ13mm	t	151,000	0.0	151,000	0.0	151,000	0.0	151,000	0.0	
小形棒鋼	異形棒鋼SD295A D16~25mm	t	115,000	-1.7	115,000	-1.7	115,000	-1.7	115,000	-1.7	
アスファルト	ストレートアスファルト 針入度60~100	t	128,000	0.0	128,000	0.0	128,000	0.0	128,000	0.0	60~80
アスファルト	アスファルト混合物 密粒度13	t	15,100	0.0	15,400	0.0	14,300	0.0	14,933	0.0	149,330円/10t
木 材	管柱 杉(KD) 長3m×厚10.5cm×幅10.5cm	m3	115,000	-4.2	115,000	-4.2	115,000	-4.2	115,000	-4.2	
油 類	軽油(ミニローリー渡し)	L	121.0	2.5	121.0	2.5	121.0	2.5	121.0	2.5	121,000円/kl
油 類	重油(ローリー渡し)	L	82.0	3.8	82.0	3.8	82.0	3.8	82.0	3.8	82,000円/kl
型枠合板	12×900×1800mm	枚	2,250	0.0	2,250	0.0	2,250	0.0	2,250	0.0	
H形鋼	SS400 200×100×5.5×8mm	t	129,000	0.8	129,000	0.8	129,000	0.8	129,000	0.8	

建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

表-1 [小型棒鋼・H形鋼]

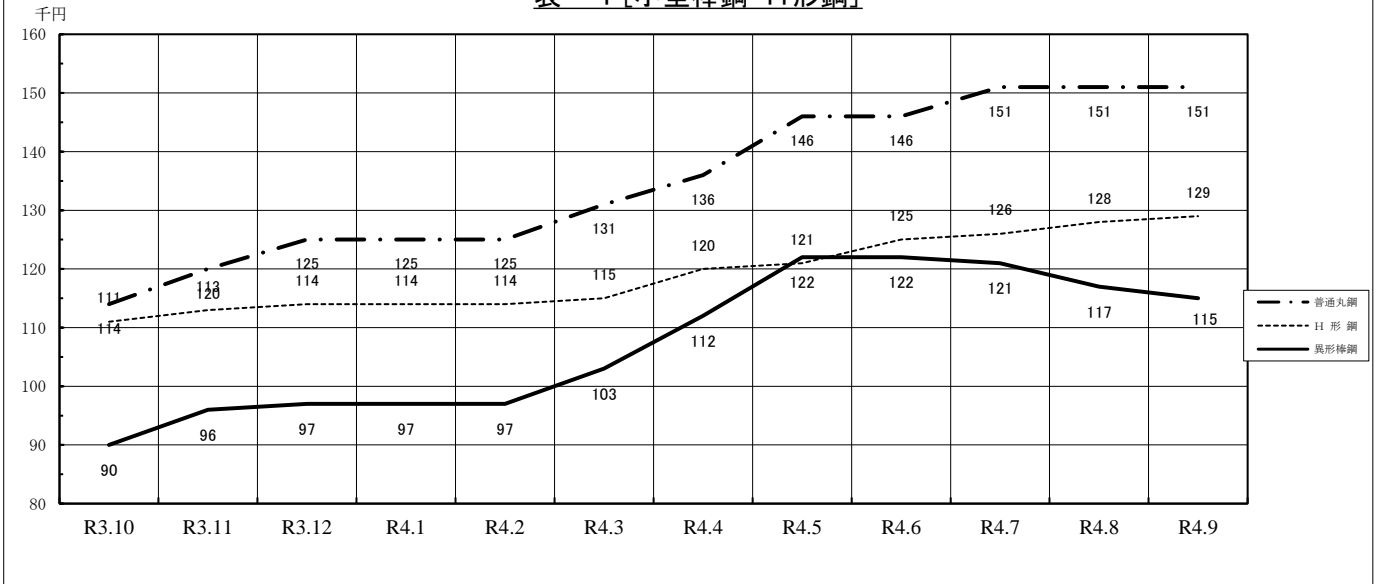


表-2 [セメント・生コン]

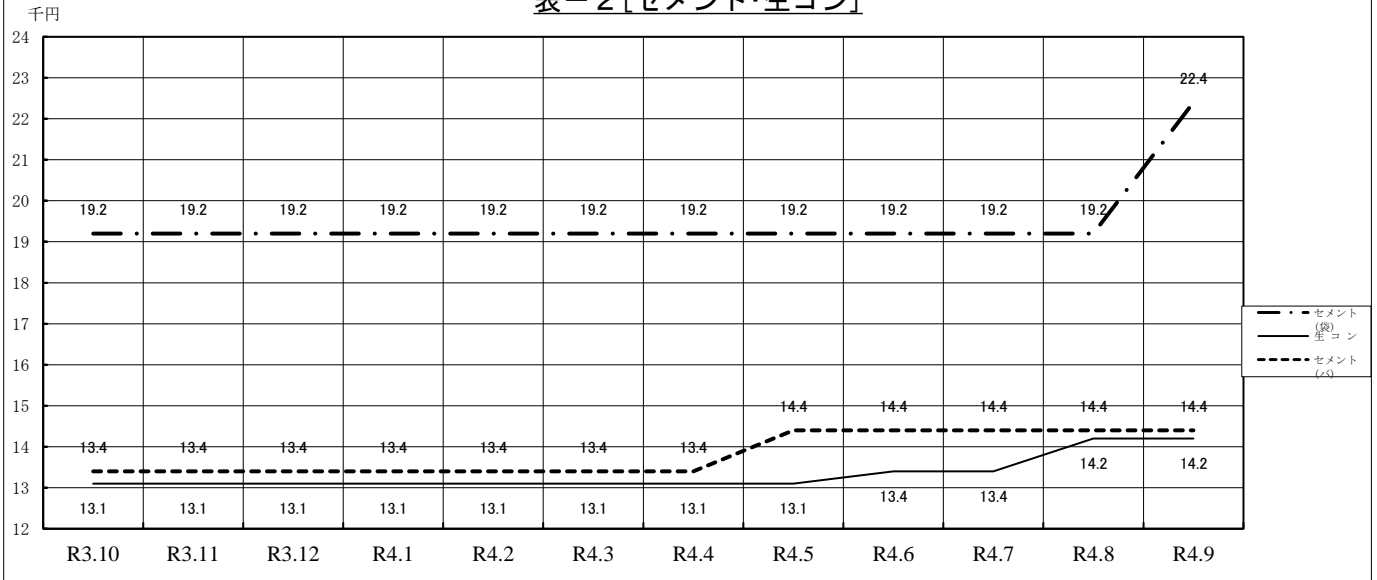
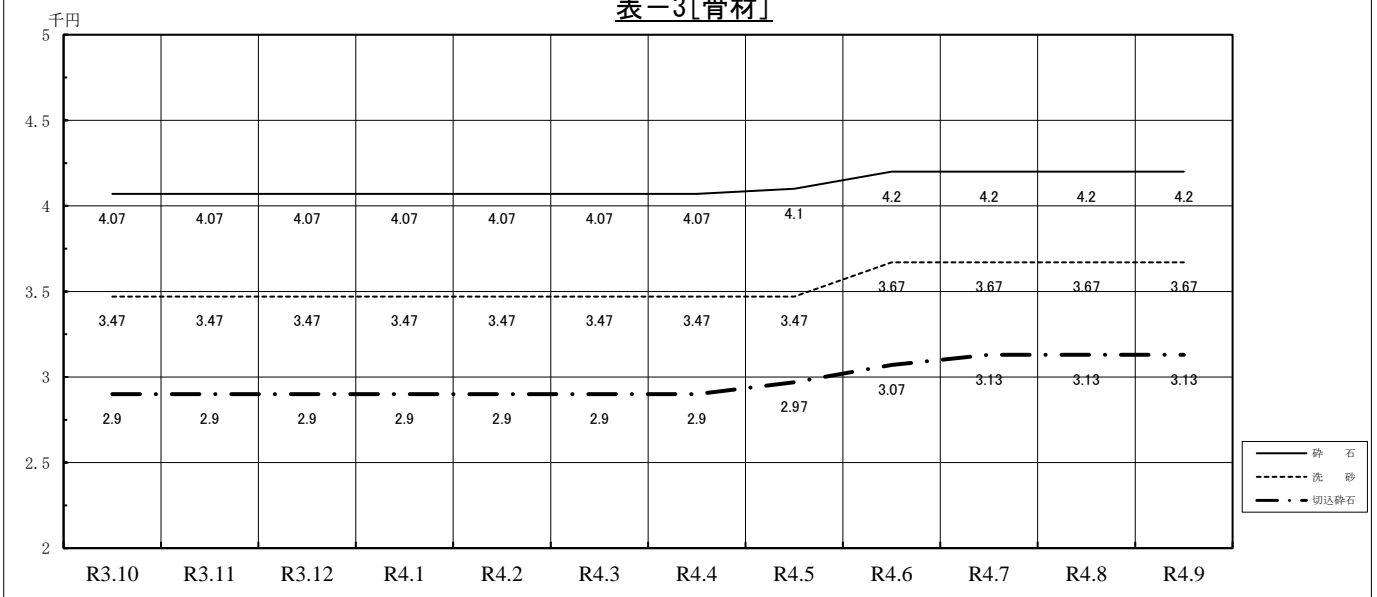


表-3 [骨材]



建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

